



2022年12月期 中間決算説明会

クリヤマホールディングス株式会社

(東証スタンダード市場:3355)

代表取締役CEO 小貫 成彦

1. 2022年度 中間連結業績概要
2. 2022年度 通期連結業績見通し
3. 事業戦略

2022年度 中間連結業績概要

中間連結業績の概要



■ 不安定な市場環境の中、前年同期及び予想に対して増収増益

(単位：百万円)

項目	2021年12月期 第2四半期累計 (実績)	2022年12月期 第2四半期累計 (実績)	前年同期比増減		第2四半期累計 予想比増減	
			(金額)	(%)	(金額)	(%)
売上高	29,381	34,942	+ 5,561	+ 18.9	+ 2,942	+ 9.2
営業利益	2,371	2,519	+ 148	+ 6.2	+ 319	+ 14.5
利益率	8.1%	7.2%				
経常利益	2,655	2,711	+ 56	+ 2.1	+ 311	+ 13.0
利益率	9.0%	7.8%				
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,884	1,928	+ 44	+ 2.3	+ 328	+ 20.5
利益率	6.4%	5.5%				

為替レート

2021年第2四半期累計(実績)：USD=108.45、CAD=86.98、EUR=130.46、RMB=16.76

2022年第2四半期累計(実績)：USD=124.52、CAD=97.73、EUR=135.20、RMB=19.13

【凡例】 ✓ = 市場環境 ▶ = 当社事業環境

✓ 急激な円安の進行

<海外>	▶ 昨年同期米ドル=108.45円から今期124.52円と円安に振れたことで、北米事業においてプラス方向に作用
------	---

✓ ロシアのウクライナ侵攻

<全体>	▶ 対象地域での営業活動は限定的なため、直接的な影響はごく軽微
------	---------------------------------

✓ 原材料・エネルギー価格の高騰

<全体>	▶ 石油化学燃料価格の高騰によるゴム・樹脂の原材料価格の高騰が継続
------	-----------------------------------

<海外>	▶ シェールオイル掘削時の水搬送に使用される大口径ホースの受注は限定的
------	-------------------------------------

✓ 中国における局地的ロックダウン

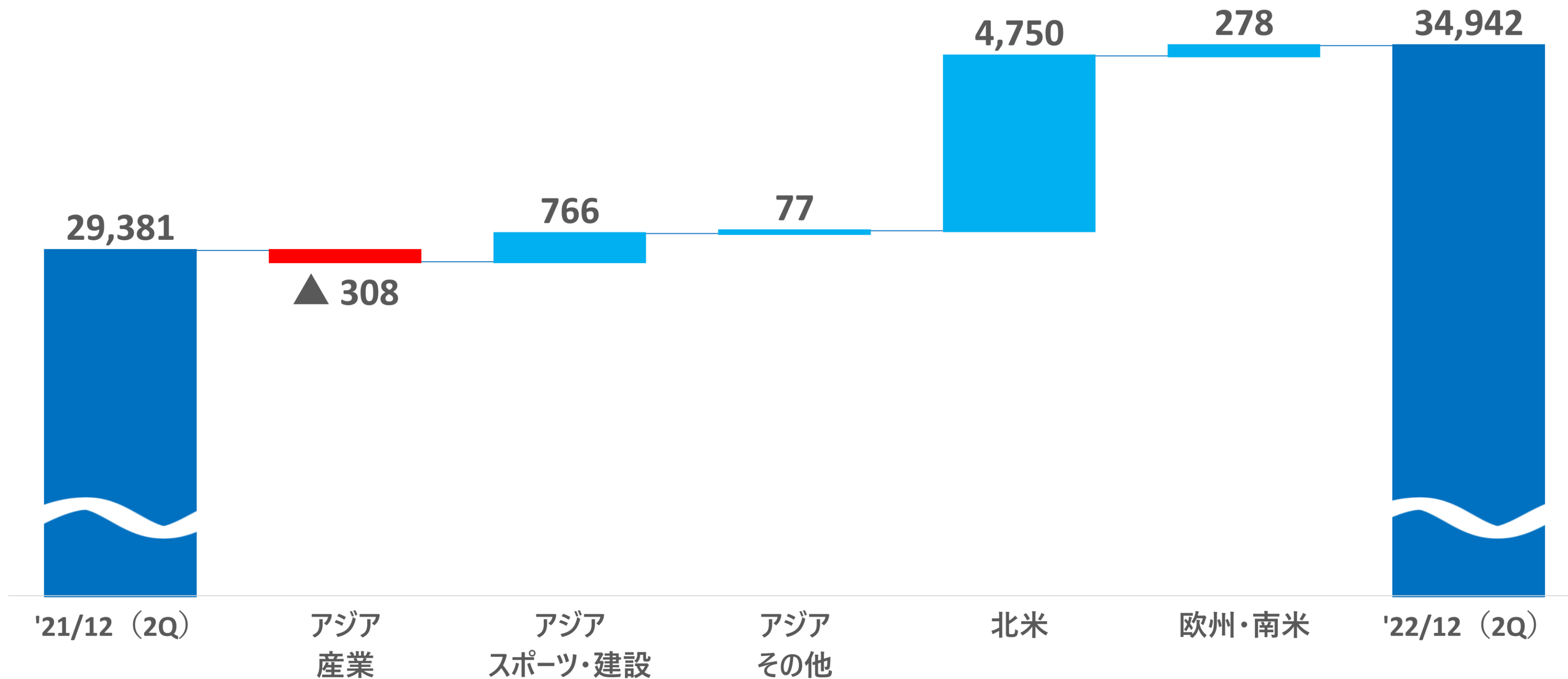
<全体>	▶ 物流停滞や工場の稼働停止等による一時的なサプライチェーンの混乱
------	-----------------------------------

<海外>	▶ 中国顧客の工場が稼働停止したことで、中国子会社が減収減益
------	--------------------------------

<国内>	▶ 各種部品の供給逼迫による顧客の生産台数が減少
------	--------------------------

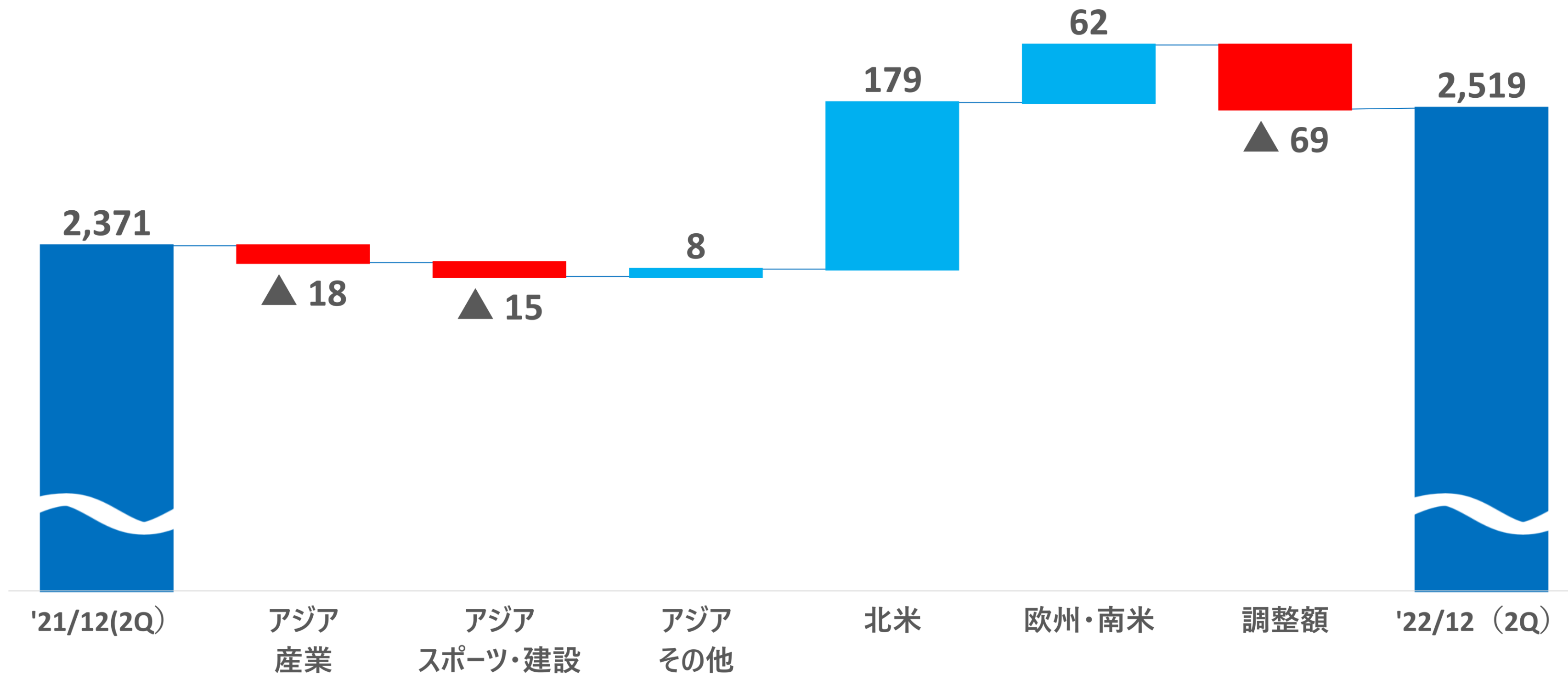
■ 前年同期比18.9%増収

(単位：百万円)



■ 前年同期比6.2%増益

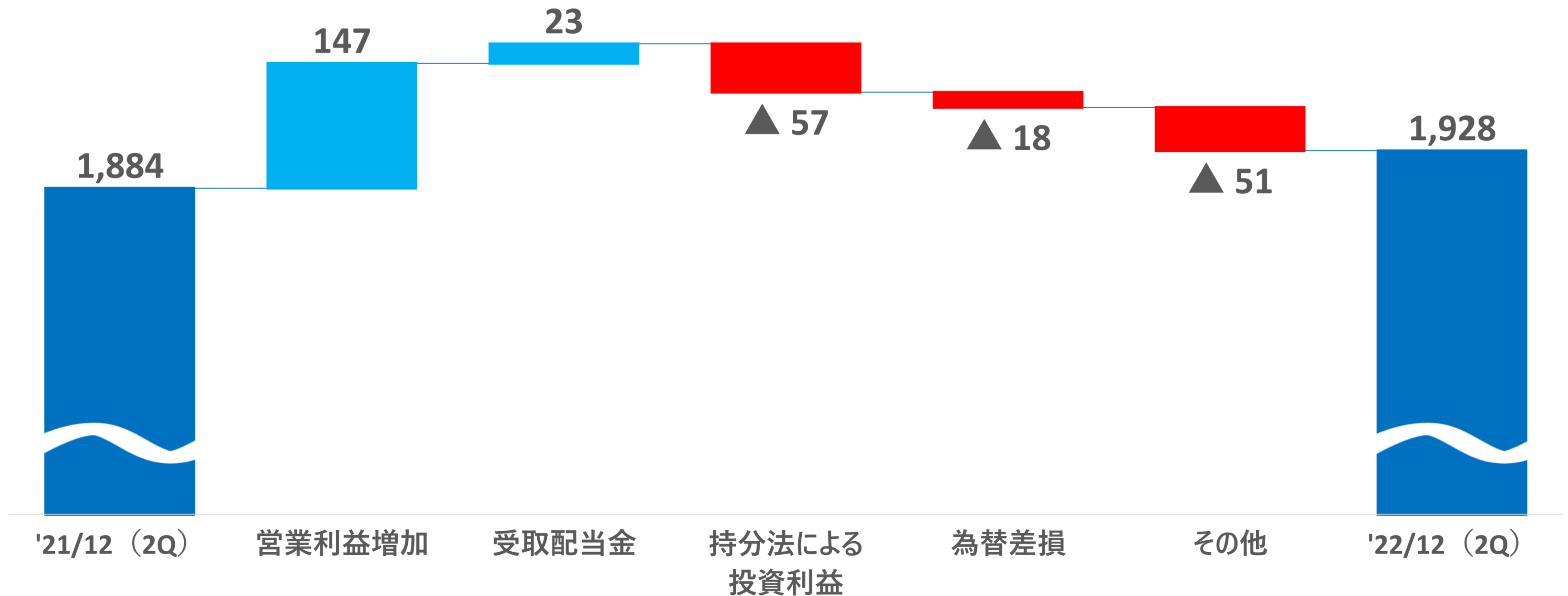
(単位：百万円)



四半期純利益増減要因

■ 前年同期比2.3%増益

(単位：百万円)



セグメント別売上高・営業利益

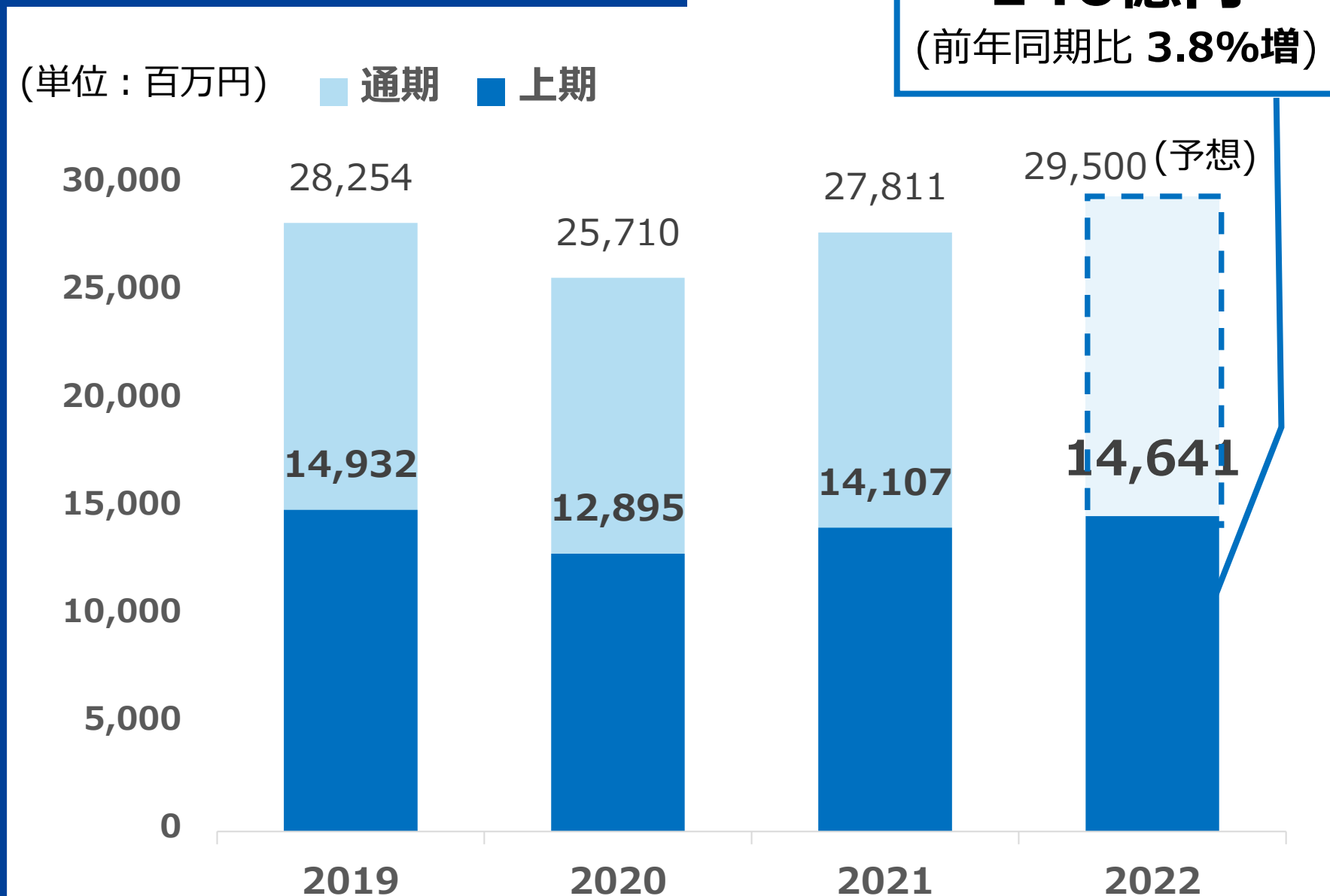


(単位：百万円)

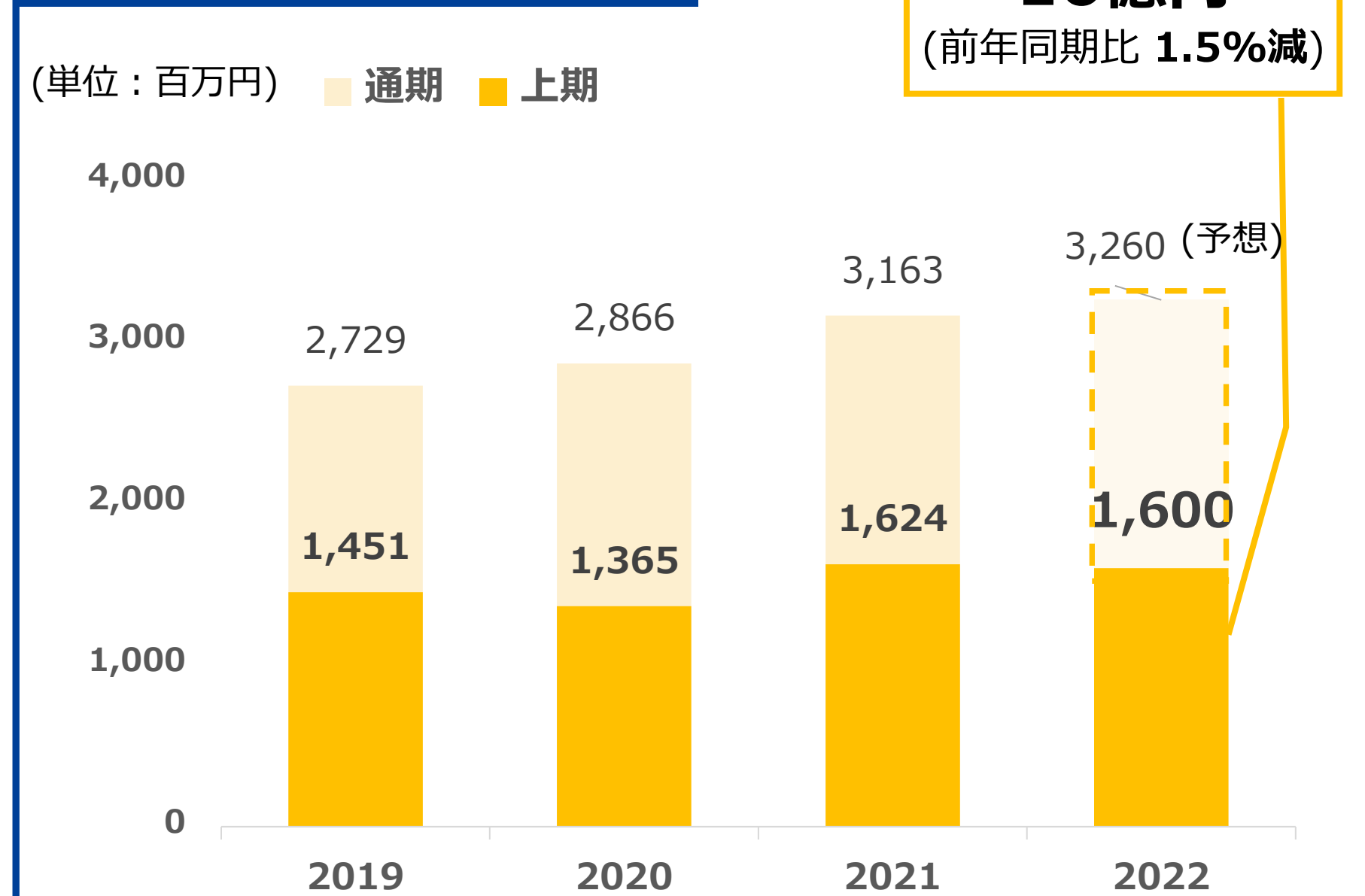
セグメント		2021年12月期 第2四半期累計 (実績)	2022年12月期 第2四半期累計 (実績)	前年同期比増減	
				(金額)	(%)
アジア事業	売上高	14,107	14,641	+ 534	+ 3.8
	営業利益	1,624	1,600	▲ 24	▲ 1.5
	産業資材	9,174	8,866	▲ 308	▲ 3.4
	営業利益	1,446	1,428	▲ 18	▲ 1.3
	スポーツ・ 建設資材	4,642	5,408	+ 766	+ 16.5
	営業利益	225	210	▲ 15	▲ 6.4
その他	売上高	289	366	+ 77	+ 26.6
	営業利益	▲ 46	▲ 38	+ 8	-
北米事業	売上高	13,213	17,963	+ 4,750	+ 35.9
	営業利益	1,057	1,236	+ 179	+ 16.9
欧州・南米事業	売上高	2,060	2,338	+ 278	+ 13.5
	営業利益	169	231	+ 62	+ 36.6
連結	売上高	29,381	34,942	+ 5,561	+ 18.9
	営業利益	2,371	2,519	+ 148	+ 6.2

アジア事業の概況

売上高推移



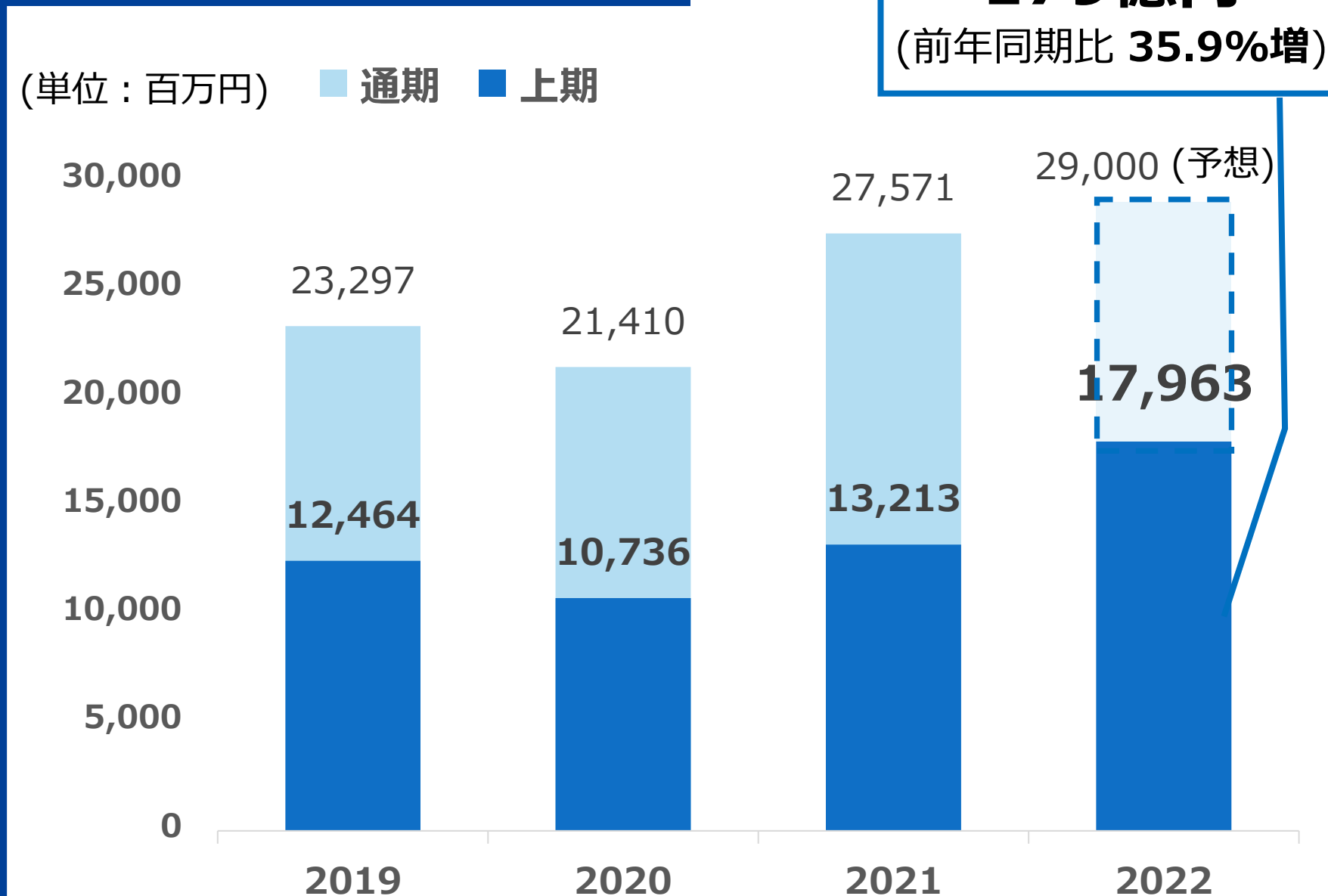
営業利益推移



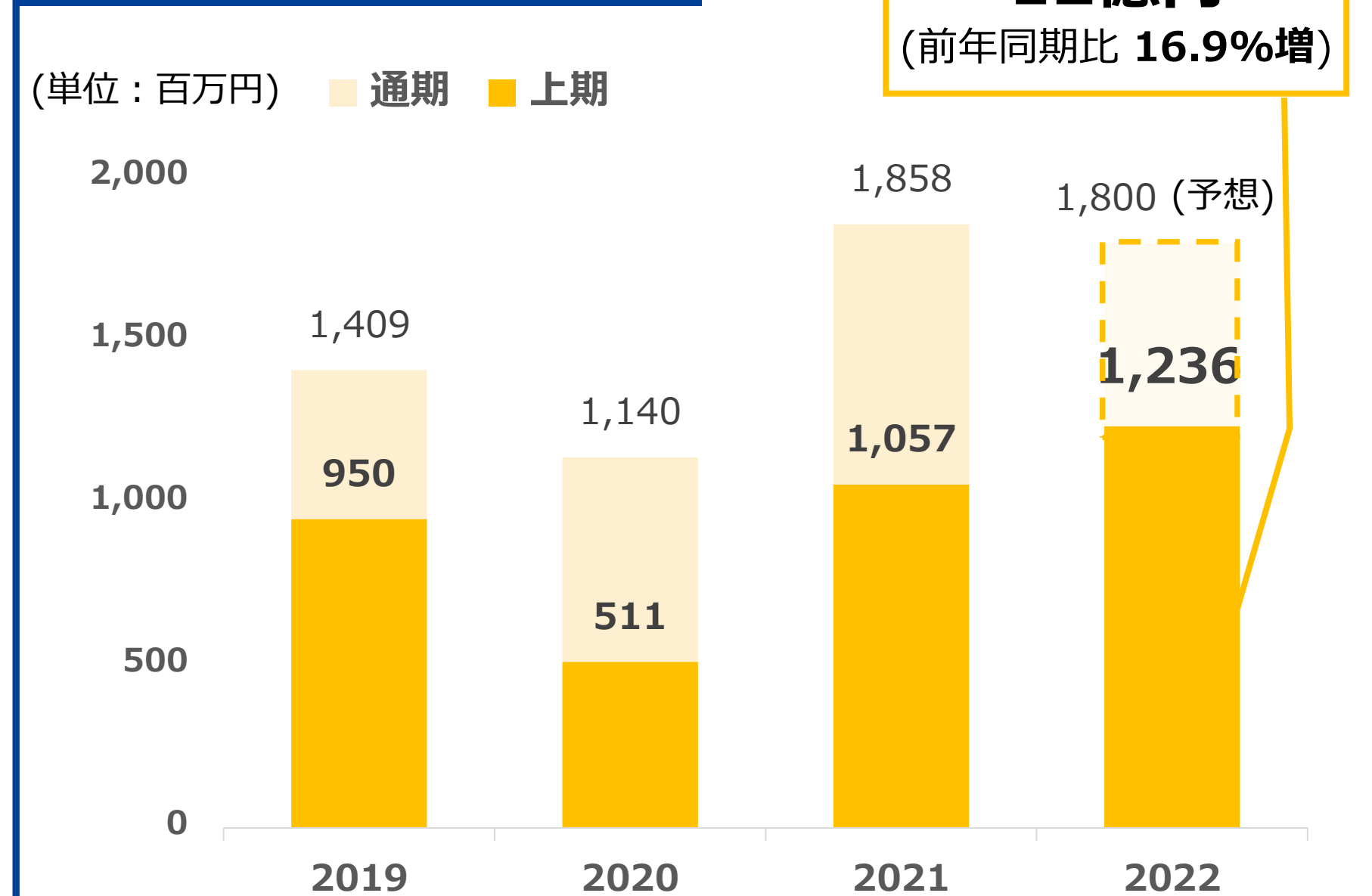
- サプライチェーンの混乱に起因する各種部品の供給制約、上海ロックダウンによる経済活動の抑制等により、自動車メーカー及び建機・農機メーカーの生産台数が減少し、産業資材事業が減収減益
- 民間設備投資の緩やかな改善や、鉄道施設の安全対策強化などを含む設備投資増加により売上が増加したものの、工事材料費や人件費増加が利益を圧迫したため、スポーツ・建設資材事業が増収減益

北米事業の概況

売上高推移



営業利益推移

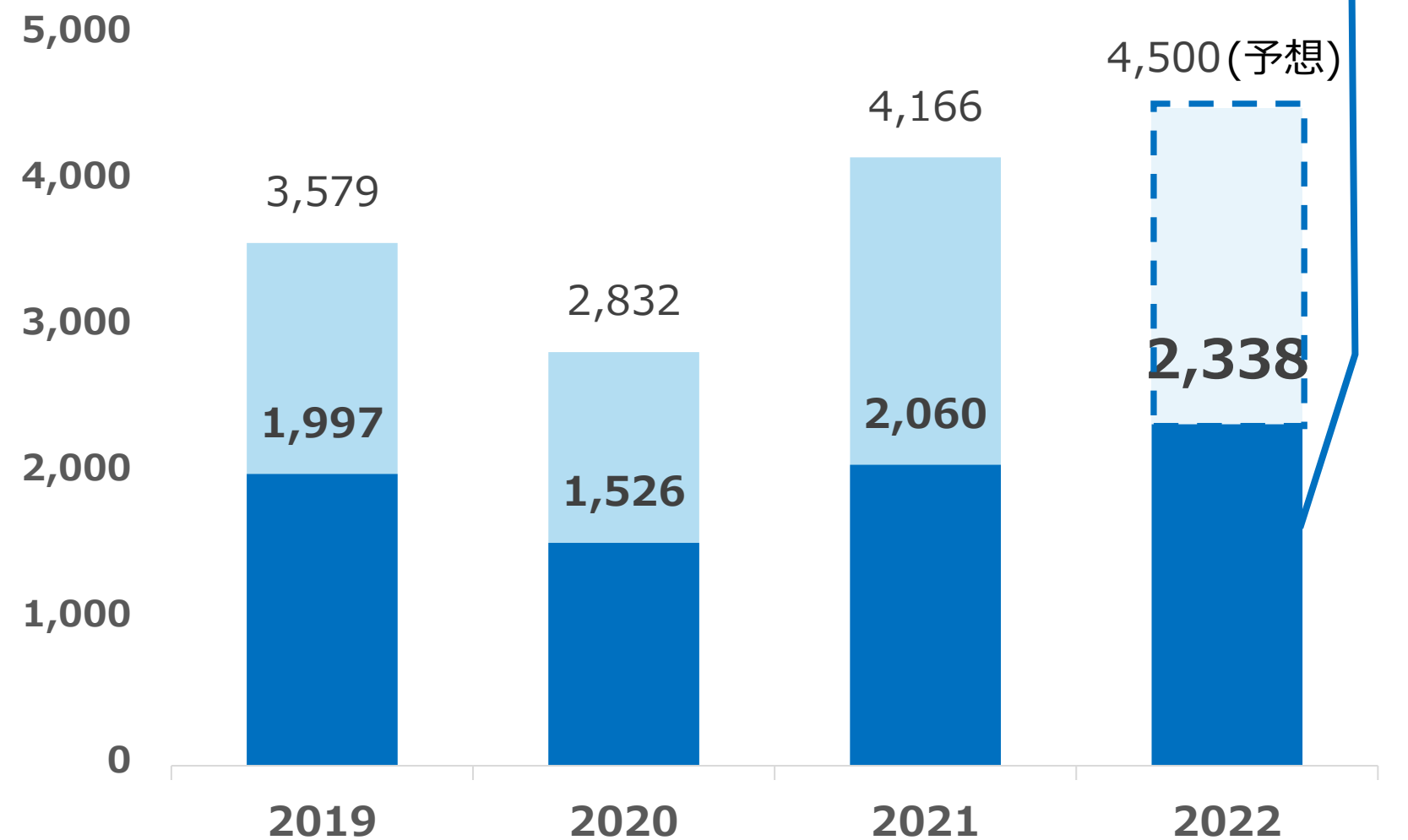


- 外食産業向け「飲料用ホース」や住宅外壁塗装用「ペイントスプレーホース」の需要が高水準を維持したことに加え、第2四半期までの季節需要である農業分野向け「レイフラットホース」等の販売が好調なため増収増益
- 現地通貨ベースでの売上増加に加えて円安がプラスに寄与したものの、損益面では原材料、人件費、物流費の高騰が価格転嫁を上回ったことで営業利益を圧迫

欧州・南米事業の概況

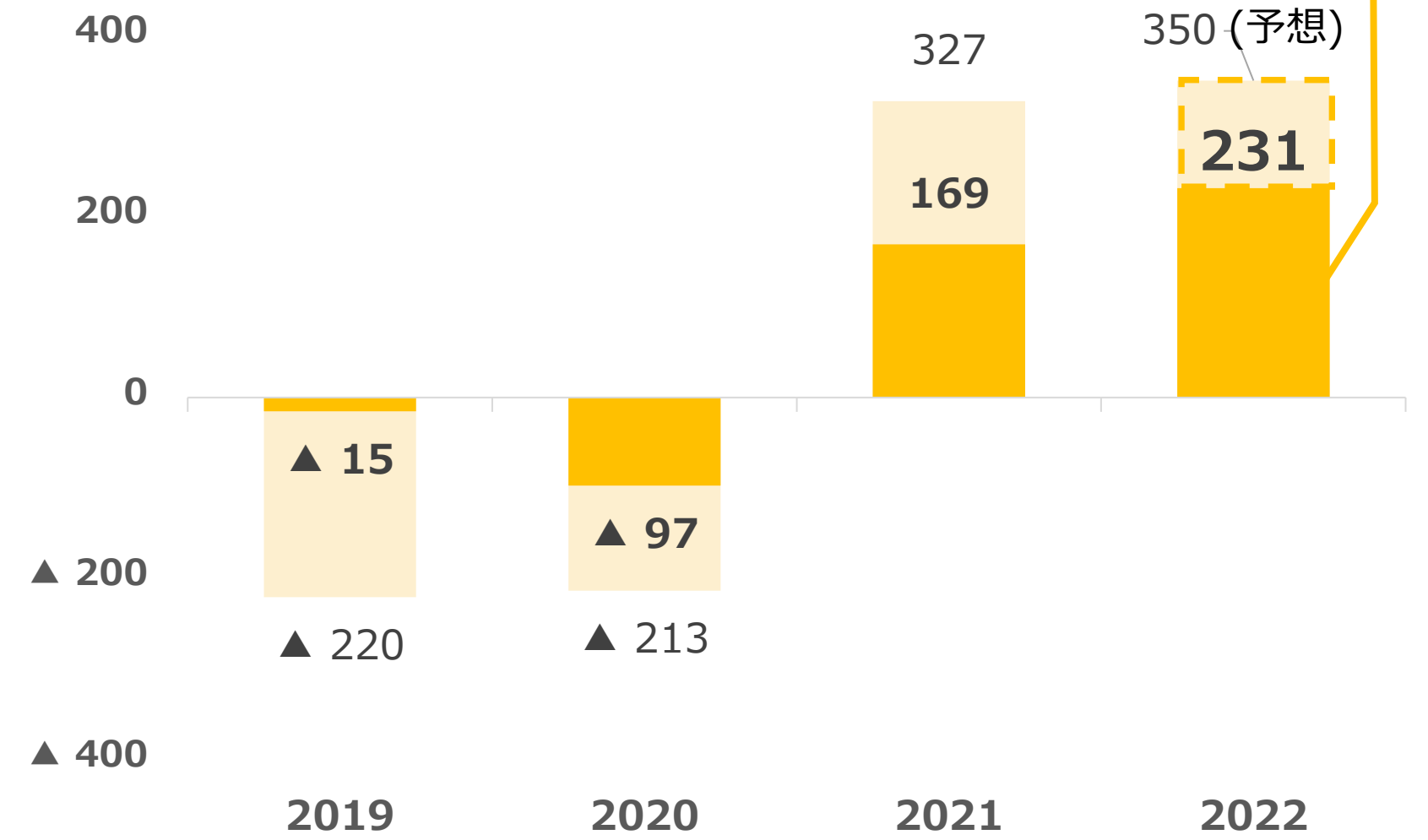
売上高推移

(単位：百万円) ■ 通期 ■ 上期



営業利益推移

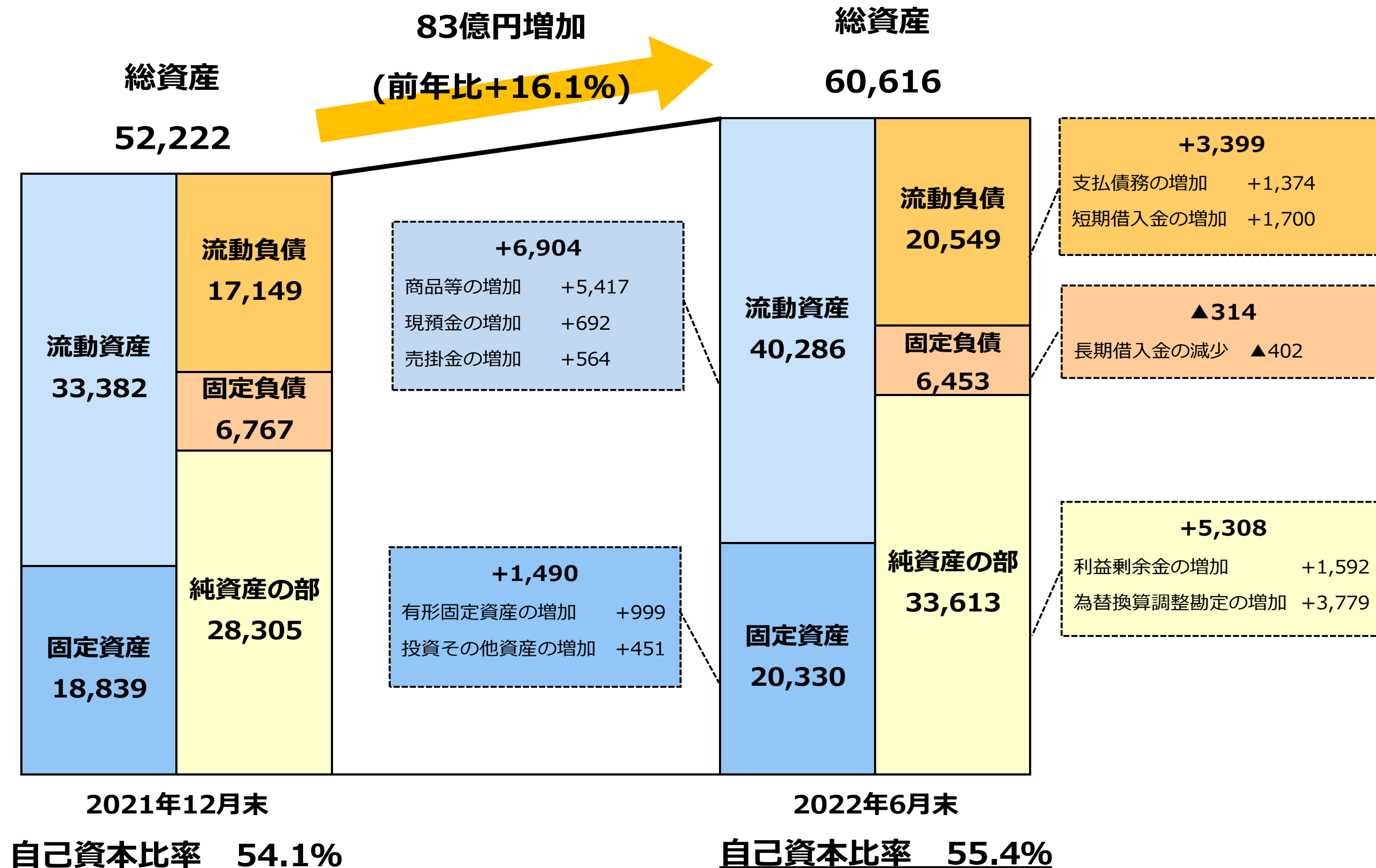
(単位：百万円) ■ 通期 ■ 上期



- 北米事業の販売ネットワークを活用した消防機関向け「消防用ホース・ノズル」の米国向け輸出が好調だったことに加え、灌漑を含む農業分野向け「レイフラットホース」の販売が堅調に推移したため増収
- 損益面ではアルゼンチンの超インフレ会計適用がマイナス要因となるものの、旺盛な需要を取り込んだことで増益

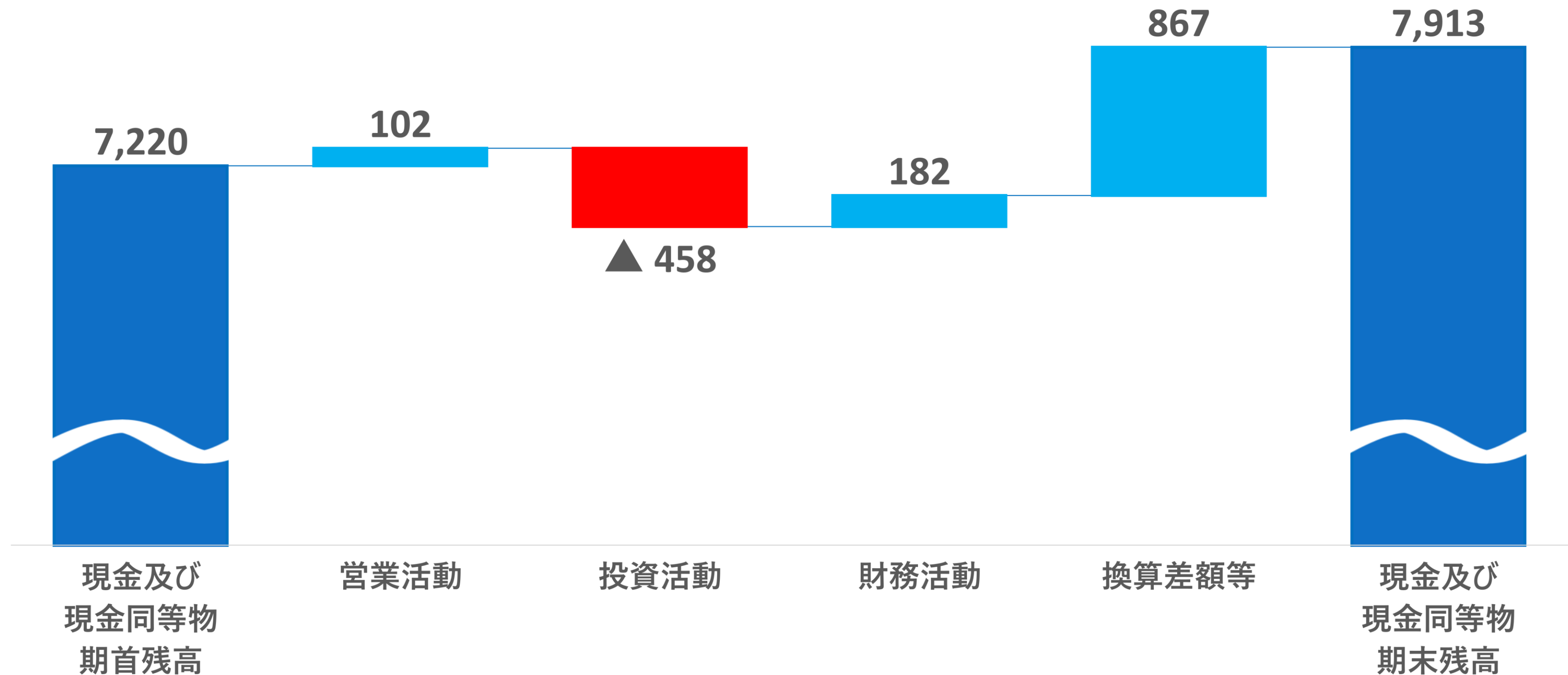
要約貸借対照表

(単位：百万円)



キャッシュフロー増減要因

(単位：百万円)



2022年度 通期連結業績見通し

市場環境

- 多くの国や地域でコロナウイルス感染症への防疫措置が適宜緩和されたことにより正常化が進んだ一方で、ゼロコロナ政策に伴う中国の行動制限、ロシアのウクライナ侵攻による大規模な経済制裁等による世界的な原材料・エネルギー価格の高騰やサプライチェーンの混乱に加え、円安水準が継続



**北米事業を中心に上期は堅調に推移するものの
景気下振れリスクを踏まえ、通期連結業績予想は修正なし**

連結業績予想

(単位：百万円)

項目	2021年12月期 (実績)	2022年12月期 (予想)	前年比増減	
			(金額)	(%)
売上高	59,549	63,000	+ 3,451	+ 5.8
営業利益 利益率	4,302 7.2%	4,300 6.8%	▲ 2	▲ 0.05
経常利益 利益率	4,778 8.0%	4,700 7.4%	▲ 78	▲ 1.6
親会社株主に帰属する 当期純利益 利益率	3,809 6.3%	3,200 5.0%	▲ 609	▲ 16.0

為替レート

2021年(実績) : USD=110.37、CAD=87.99、EUR=130.34、RMB=17.12
 2022年(見通し) : USD=112.00、CAD=94.00、EUR=133.00、RMB=17.80

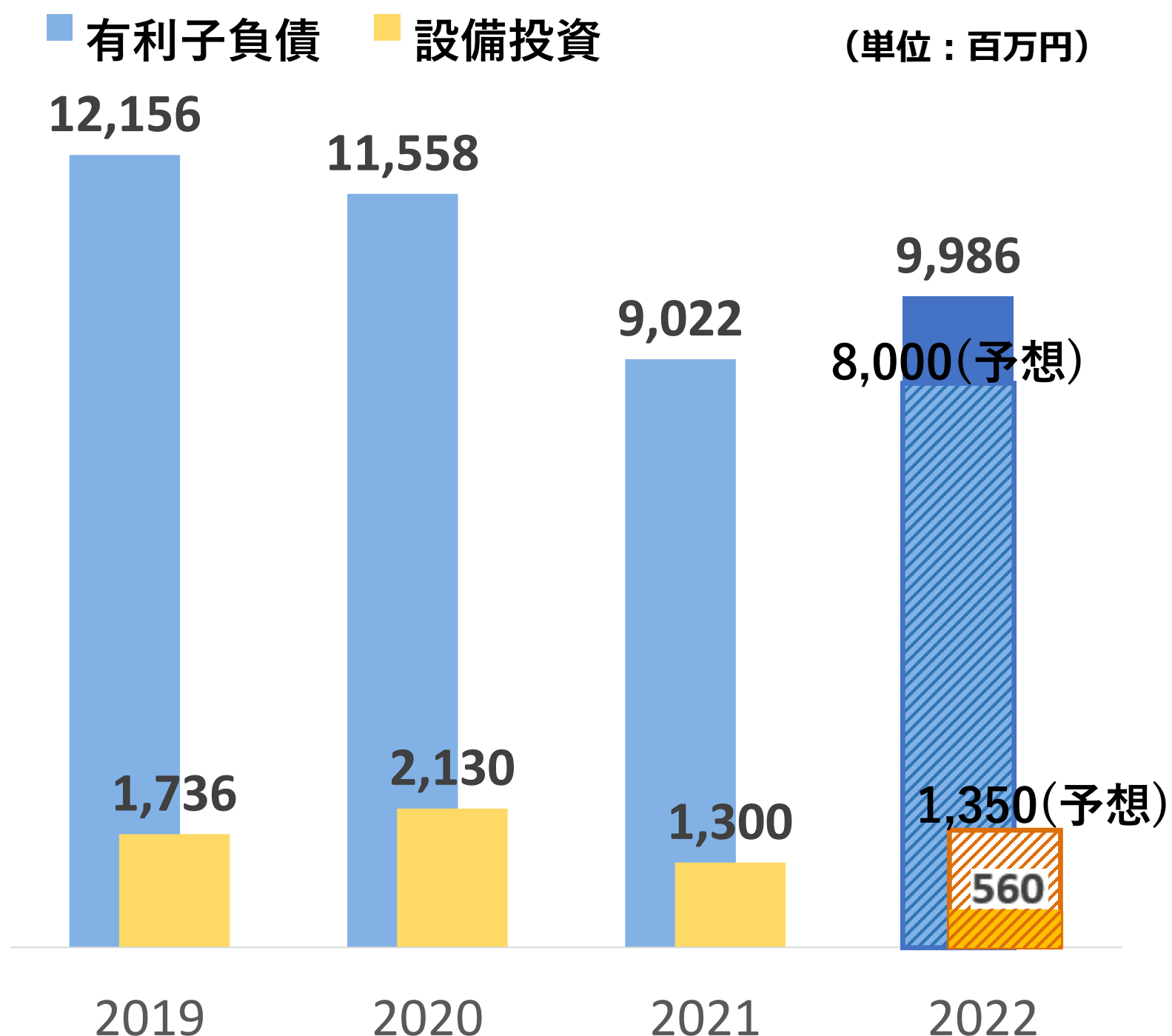
主要通貨の為替感応度*

売上高 営業利益 (単位：百万円)

USD : 230 10
 EUR : 40 5

*1円の変動による年間売上高、営業利益への影響額

有利子負債および投資活動の推移



経過概要

- サプライチェーンの混乱が続く中、機会損失を回避するため在庫を確保したことで、短期借入金が増加傾向
- 上期はホース事業拡大を主体とした設備投資を実施

主な内訳

(ホース事業)

- 北米 : 3.2億円
- 欧州・南米 : 1.0億円

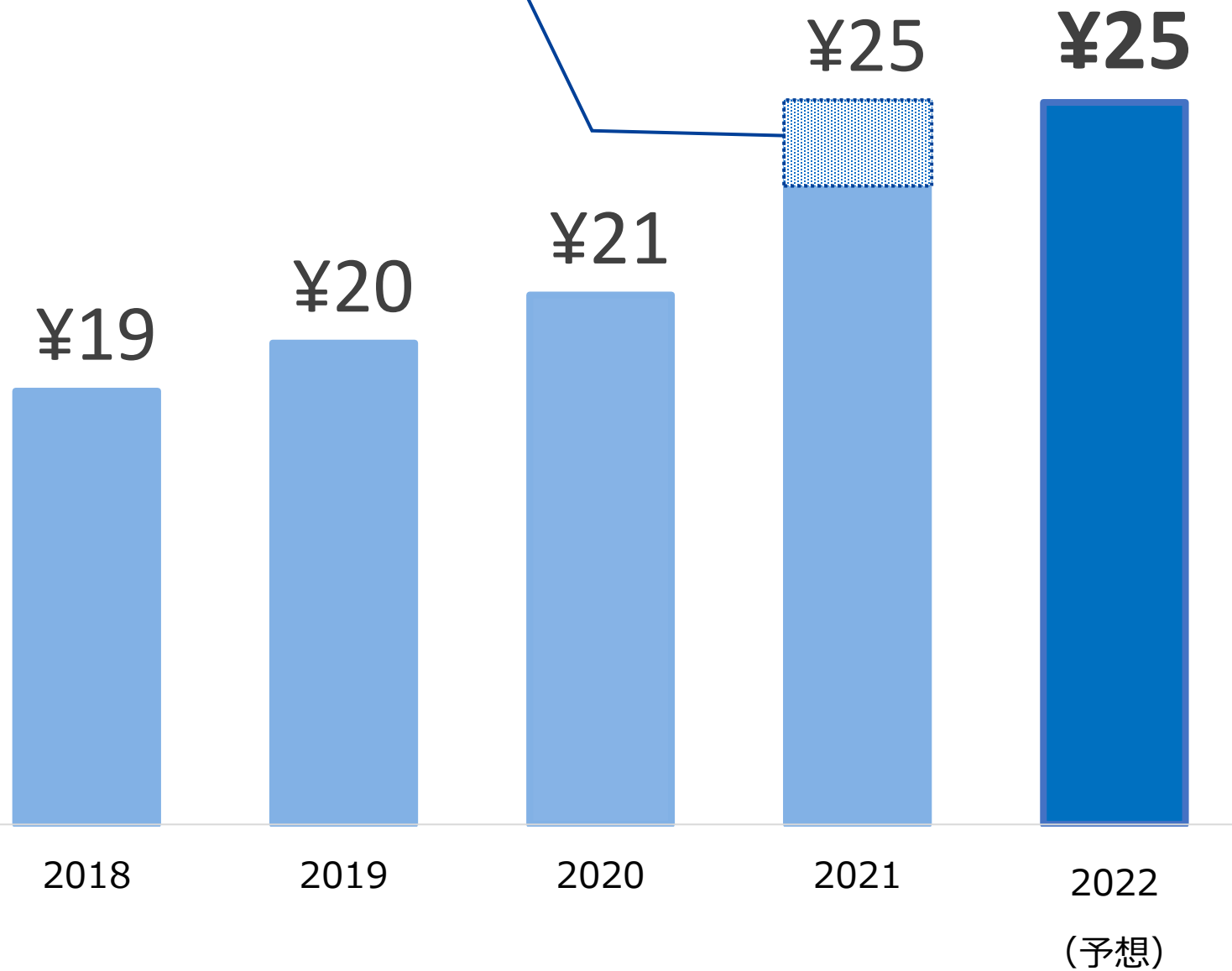
(アジア事業)

- センサー関連 : 0.2億円
- 量産用金型他 : 1.2億円

株主還元の概況

配当金の推移

上場来 最高益による
特別配当 2 円を含む



基本方針

将来の事業展開と経営体質強化のために 必要な
内部留保を確保しつつ、安定的かつ継続的な配当
の実施

株主還元の動向

- 2004年の上場以来、現在まで減配なし
- 安定的かつ継続的な配当を基本方針として
22年期末配当は25円を予想
- 株主優待制度 (当社オリジナルQuoカードを贈呈の予定)
 - ✓ 200株以上2,000株未満 : 1,000円分
 - ✓ 2,000株以上 : 3,000円分

事業戦略

国内事業戦略

1. スポーツ施設や商業施設などの総合床材メーカーとしてのNo.1ブランドを目指す
2. スポーツアパレル“モンチュラ”の販売拡大を通じて健康社会の発展に貢献する

- ユニバーサルデザインの積極採用
- 新体制「スポーツアパレル事業」



事業活動を通じたSDGsへの貢献

■ SDGsに貢献する商品の開発・普及



スキマモール

「隙間を守る」からスキマモール。ホームと電車との隙間を解消するエラストマー製の製品です。お客様に駅で安全に乗り降りしていただくため大手電鉄会社と共同開発しました。

ECOセンチタン

磁器質タイルを表層に用いたコンクリート二次製品で、ノンスリップ面状により滑りにくく、耐久性に優れております。また、グリーン購入法に適合しており、環境にも配慮された製品です。

Cブレイル

高圧力・高温で焼成した磁器質点字タイル。耐摩耗性に優れ、吸水率も低いので、屋外での長期間の使用に適しています。

■ ユニバーサルマナーの導入

ユニバーサルマナーとは・・・

多様な方々に向き合うためのマインドとアクションのことを指す造語です。

高齢者や障害者、ベビーカー利用者、外国人など、多様な方々を街で見かけるようになった現代。“自分とは違う誰かの視点に立ち、行動すること”は、介護や福祉などの特別な知識ではなく、誰もが身につけておきたい「ころづかい」の一つです。

引用：(株)ミライロHP UD用語集

ユニバーサルマナー検定の受講



新体制「スポーツアパレル事業」

新生MONTURA

2021年12月、HERNOがMONTURAを買収。“ラグジュアリーカジュアル”を標ぼうするHERNOが築いてきた“ファッションテクノロジー”と共に、アクティブスポーツ市場で、新生MONTURAとして新たな価値を築く

事業戦略

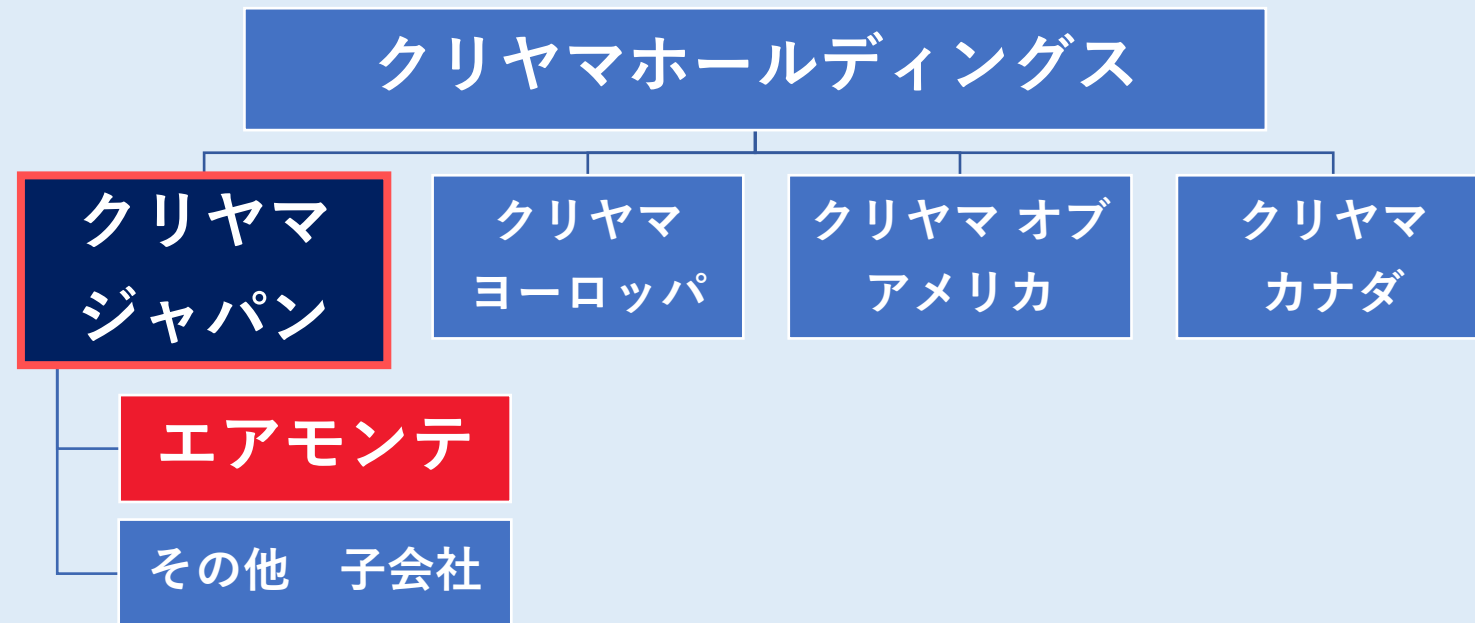
- 山専門大手チェーンにSHOP IN SHOPを計画的に展開する等
自社で売場をコントロールする仕組みを構築することで、
アルパイン市場への訴求強化
- 直接販売売場を大都市圏に店舗展開
- 自社ECサイト運営によるコミュニケーションの増加



新体制「スポーツアパレル事業」

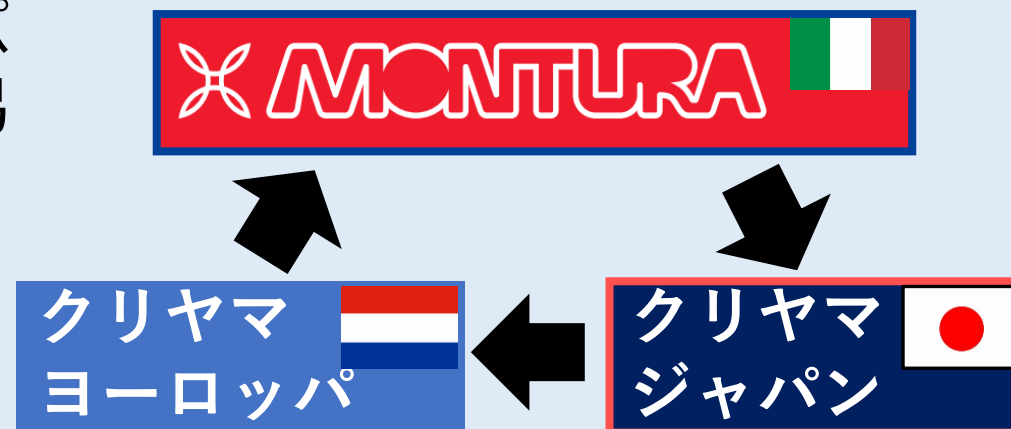
■ 組織体制の変更 <Before>

クリヤマジャパンの子会社として、エアモンテ社が独立した組織でモンチュラを販売展開



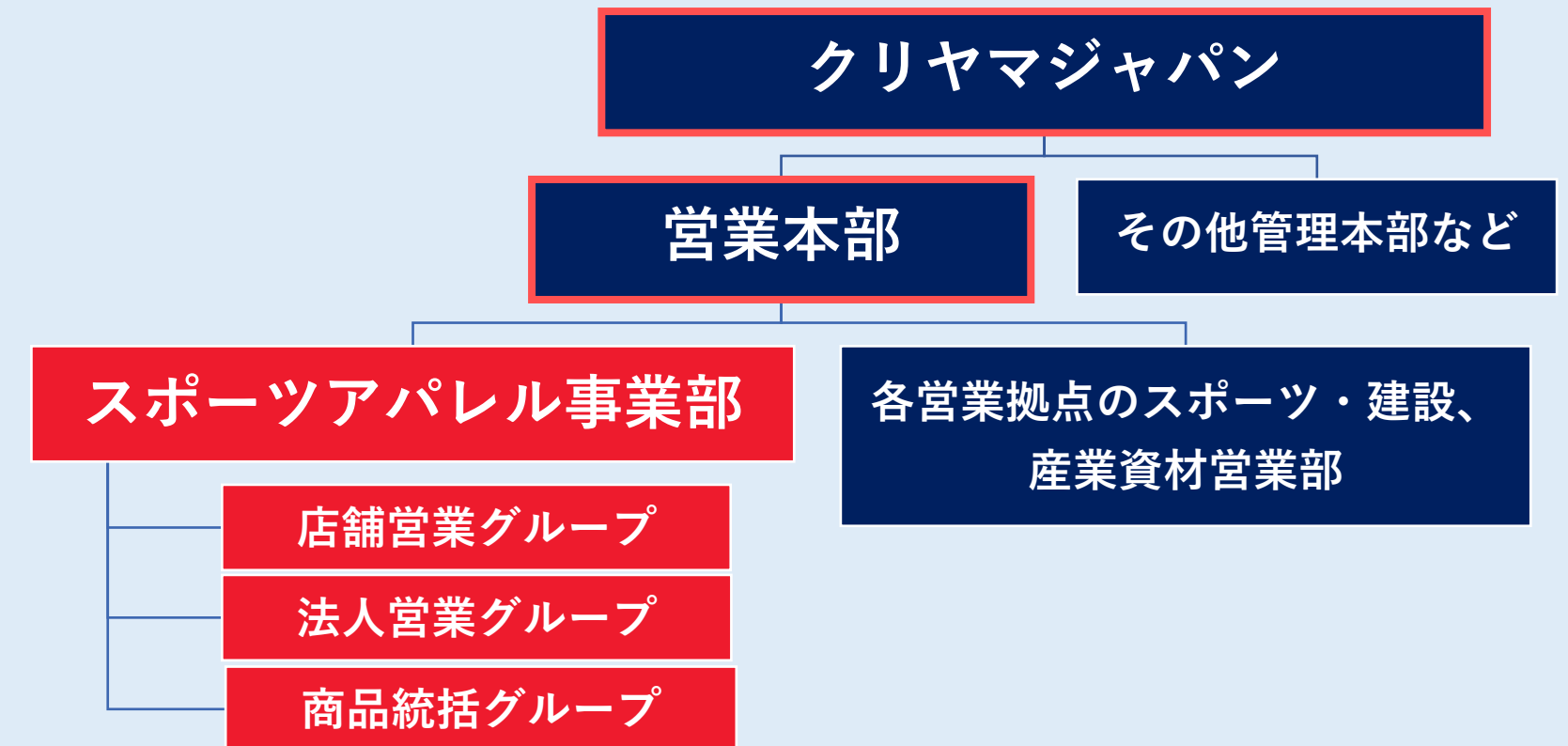
■ 商流のスリム化 <Before>

クリヤマヨーロッパを介した三国間貿易による調達



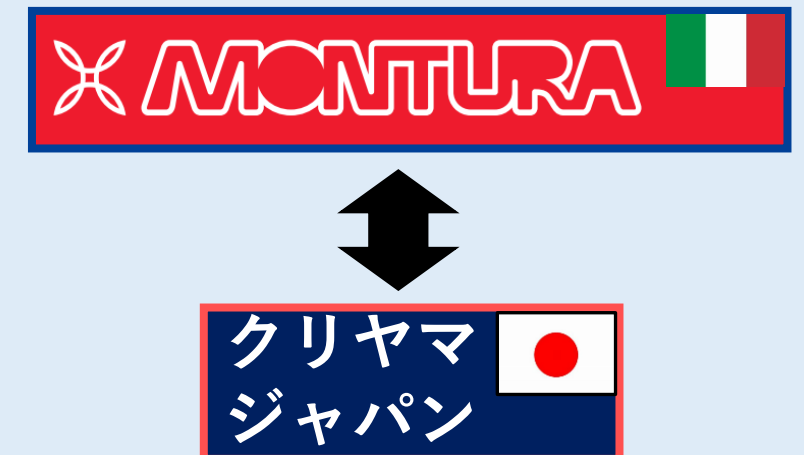
<After>

クリヤマジャパンがエアモンテ社を吸収合併することで適切な経営資源の分配が可能な組織体制を構築



<After>

サプライヤーとの直接取引による顧客対応の迅速化とコスト競争力向上を見込む



グローバル事業戦略

1. 日本の建機・農機のグローバルTier1サプライヤーとしての地位を確立する
2. 産業用総合ホースメーカーとして品質と信頼のNo.1ブランドを目指す
3. 現地生産・現地販売を推進し、各国の経済発展に貢献する

■ (株)サンエーの進捗と展望

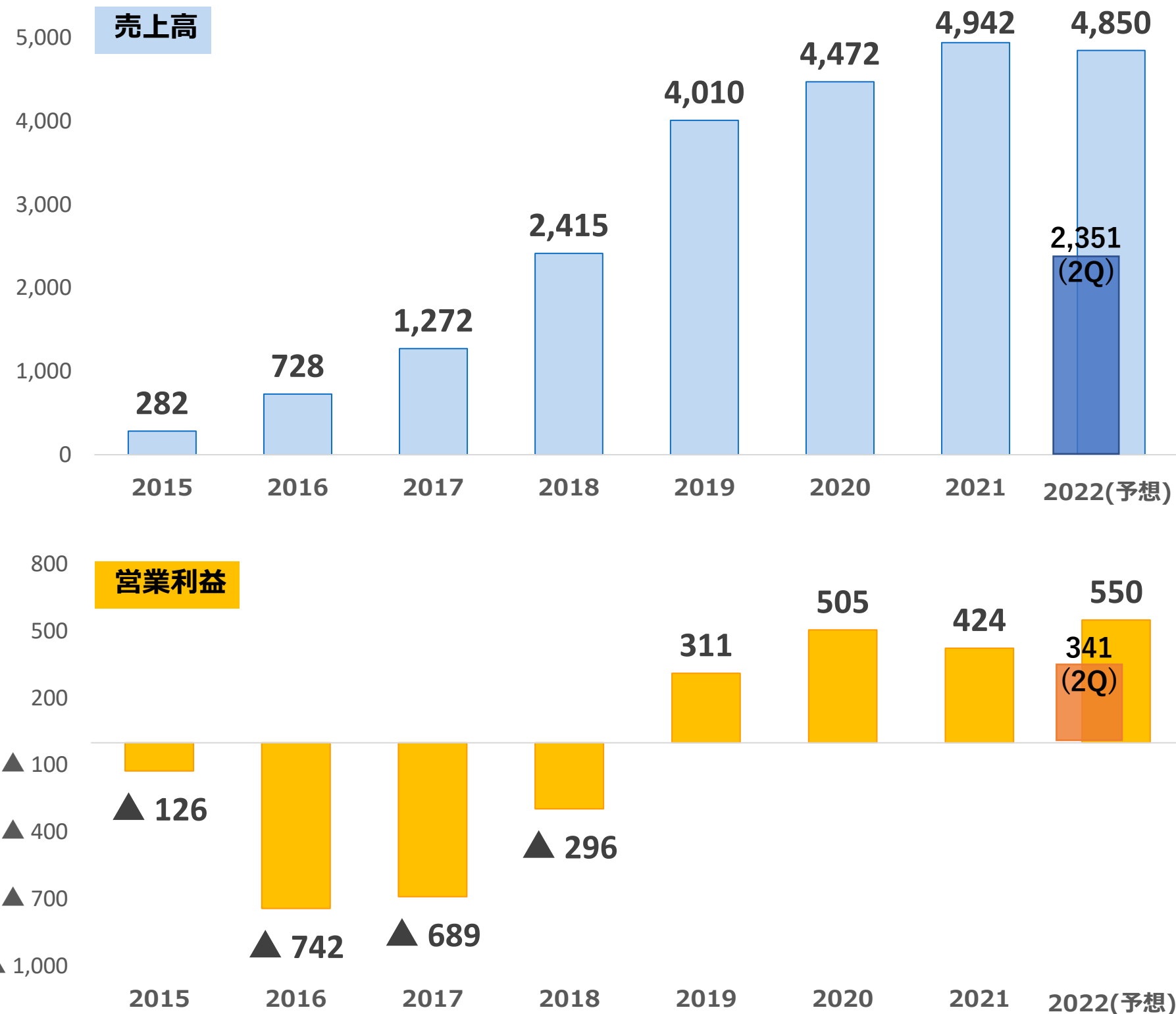
■ ホース事業のグローバル展開



(株)サンエーの進捗と展望

(株)サンエー単体業績推移(買収以降)

(単位：百万円)



これまでの進捗

乗用車向けのセンサー需要は、当初の見込み通りEV化の進展と共に徐々に減少する一方で、建機・農機、商用車への新規採用が増加したため、前期並みの収益性を確保

これからの展望

中大型の建機・農機はSCR等の環境要素技術を組み合わせたディーゼルエンジンを継続採用することが見込まれることから以下の施策を推進

1. 建機・農機の米国新規制をはじめとする各国排ガス規制強化による需要拡大
2. 中国、インドなどの新興国需要取り込み
3. 新規開発製品の市場投入



これまでの進捗

新たな市場ニーズとして定着したDIY需要を取り込むため
生産設備を増強

1. 外壁塗装用「ペイントスプレーホース」の補強層編み機を追加導入
2. 住宅屋外プール用「Spaホース」の製造ラインをカナダ工場に新設



これからの展望

サプライチェーンの混乱が続く環境下においても、米国を中心に
北米市場は、引き続き幅広い分野で旺盛な需要が見込まれる

1. 消防機関向け「消防用ホース」の米国内製化による地産地消の推進
2. ロジスティクスの最適化を見据えた物流機能の拡張



ご清聴ありがとうございました



お問い合わせ先



**クリヤマホールディングス株式会社
社長室**

〒540-6325

大阪府中央区城見1丁目3番7号松下IMPビル25階

E-Mail : IR@kuriyama.co.jp

TEL : 06-6910-7023

FAX : 06-6910-7035

<https://www.kuriyama-holdings.com>

補足資料

ESG・SDGs への取り組み

KURIYAMA VALUE

わたしたちだからこそ、できること

誰もが輝き、共に成長する
豊かな未来へ



ESG・SDGsへの取り組み

気候変動と大気汚染による影響軽減に向け、事業を通じて地球温暖化や脱炭素の課題に取り組めます

排気ガスを浄化し大気汚染対策に貢献する「尿素SCRシステム」



スポーツ振興を通して人々を支え、健康社会への発展に貢献します

競技施設から防災拠点まで多目的機能をもつ弾性スポーツシート「タラフレックス」

国内のスポーツ振興に貢献する「日本トップリーグ連携機構（JTL）」をサポート

高機能で快適「MONTURA」ウェア、シューズ等の販売や、スポーツ教室の開催サポート等による健康社会への貢献



人々のニーズに配慮し、公共交通機関への安全なアクセスを実現するサステナブルな商品を開発、提供しています

視覚障がい者を守る点字タイル、公共交通機関での転倒事故やけがを防ぐノンスリップタイル

駅ホームでの転落事故防止のため、電鉄会社と共同開発した段差・隙間対策商品「スキマモール」



新素材の活用や生産技術向上により、環境負荷低減商品の開発を強化します

NSF（USA）に認定された人体に適した飲料用ホース等の製造販売



ESG・SDGsへの取り組み

廃棄物を資源として再利用、または適正に処分することで循環型社会に貢献します

セラミックタイルの廃材をリサイクル、都市型洪水やヒートアイランド現象にも貢献する「アクアスルー」

ホースの製造工程で発生するスクラップの削減と再利用により産業廃棄物量を削減

ホース製造工程で、工場での排水は浄化システムを採用し、外部機関でシステム性能を監視

環境と身体の安全に配慮した人工芝「モンドターフ」・「リモンタターフ」

製造した消防用ノズルの検査において、工場での水の使用量を削減するため、テストで毎回使用される水は循環型回路を採用

セラミックタイル施工におけるCO2 排出量低減に配慮した低炭素モルタルの使用

環境に配慮したマテリアルでの高機能なMONTURAウェアの販売



工場排水の浄化システム



住友大阪セメント株式会社

ESG・SDGsへの取り組み

人権を尊重し、多様性のある人材を育成することで“誰もが輝く社会づくり”に貢献します



【クリヤマジャパンの働き方改革】

- ・「アーリーBiz」・・・定時30分前退社を推奨
- ・「通勤Biz」・・・時差出勤を可能とする
- ・「ランチBiz」・・・昼食時間を自分で選択
- ・「ドレスBiz」・・・就業時の服装をTPOに合わせて選択
- ・「2×4リフレッシュ休暇」・・・年間休日に加え、四半期毎に2日以上の有給取得を推奨
- ・「テレワーク」・・・個々のライフスタイルに合わせた自律的な働き方を推進

⇒2021年に総務省の「テレワーク先駆者百選」に認定されました



【ダイバーシティの推進】

性別や年齢、国籍に関わらず、多様化する価値観等の違いを尊重し、個々の能力を最大限に発揮できるようダイバーシティ経営を推進しています。

【健康経営の推進】

当社及びクリヤマジャパン株式会社の「健康経営」に関する各種取り組みは、「健康経営優良法人2022（大規模法人部門）」に認定されております。



【奨学金返済支援制度】

就学時に借り受けた返還が必要な奨学金の一部について、会社が返済原資として補助金を給付する制度を導入しています。

※諸条件有り

【寮・社宅・住宅取得補助制度】

従業員が快適に生活できる環境を実現するべく、通勤圏内に自己が所有する住居が無い方を対象とした各種寮・社宅制度を用意しています。

【出産・子育て支援】

- ・育児短時間勤務・・・養育する子が小学校就学前まで短時間勤務が可能です。（法定では3歳未満）
- ・婦人科検診補助・・・乳がん検診や子宮頸がん検診等の費用を一部補助しています。

※対象者：25歳以上（扶養対象の配偶者を含む）

- ・子ども手当の支給



【再雇用年齢の延長】

従業員が再雇用後も生きがいをもって働くことが出来るよう、再雇用者の経験・能力・知識を有効活用し、生活の安定を図ることを目的としています。

この資料は投資家の参考に資するため、クリヤマホールディングス株式会社（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

今後新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる情報の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。